

「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのです」(ペトロの手紙 I 4:10)

「Present for you and me!」

チャプレン 吉川光太郎

タレントという言葉がありますが、これはもともとギリシャ語の *τάλαντον*(タラントン)という単語から派生した言葉です。今では「テレビに映る人・有名人」といった意味で使われているタレントのもともとの意味は、①「お金の単位」、②「賜物」、③「才能」というものでした。この三つ目の意味が時代の流れとともに強調されていき、「才能のある人は人々の羨望的になる」ところから、現代のような使われ方がされているのだと思います。さて、自分に何かの才能があるというのは、誰しもが憧れることでしょう。勉強の才能、運動の才能、図工の才能、音楽の才能などなど…。私も特に小学、中学生のころは、当時流行っていた漫画に影響されて、自分には何の才能があるのだろうと日々考え、友人が才能豊かであるのを見た時には羨ましく思い落ち込んだものです。また、皆様からしてみれば、お子様に何か才能を見出すことができたならば、心に喜びがあふれるのではないのでしょうか。しかし、ここで一つ考えるべきことがあります。「才能」というものが本当にあるとして、それは一体どこから来るのでしょうか。たまたま何かをきっかけにして、自分の中にある才能の種が開花するのでしょうか。または両親から遺伝的に受け継ぐものなのでしょうか。私たちは人生を豊かにするために、あれこれ考えながら才能の発見にあくせくするわけですが、そういうものではないのだと聖書は教えてくれます。私たちが言うところの「才能」、それは神様からの「賜物・プレゼント」の一つなのであると。神様はあなた一人ではなく、この世界全体が豊かになることを望み、期待を込めて、あなたにその賜物を与えられたのです。であるならば、才能だと思っているものを自分のためだけに使ったり、そのことで人と争うというのは、ふさわしいことではありません。与えられているものを周りの人々、世界のために使うことによって賜物は本当の輝きを放ち、神様の祝福に満ち溢れた素晴らしいものになるのです。賜物は決して才能だけを指すものではありません。神様はこの他にもたくさんのプレゼントをくださっています。例えばこの体、心、命、家族、友人、環境、この世界。そのすべてが豊かな賜物なのです。時に他の人と自分を比べ、昔の私みたいに「あの人はあんなに色々できるのに、僕はこれしかできない」と言って、自分に与えられた賜物はちっぽけだなんて悲しくなることがあるかもしれませんが、私たちはそんなことについて悩む必要はありません！タラントンにはお金の単位としての意味もあると、冒頭でお伝えしました。1タラントンは、今の日本円に換算すると約6000万円の価値があるそうです。あなたに委ねられているものは小さくありません！どんなにわずかだと思っても、神様からあなたに委ねられているものはこんなにも大きいのです。私たちが賜物を正しく用いるならば、その価値は何倍にもなるのです。優劣をつけるために賜物があるわけではありません。みんなでこの世界を豊かにするために賜物は与えられるのです。授かった賜物を正しく用いることができますようにと神様に祈ってみましょう。その祈りを、最高の賜物であるイエス様が導いてくださいます。





2020年6月1日
認定こども園福光青葉幼稚園
園長 横山一乃

保育理念	受ける愛	与える愛
～愛されていることを知り・愛する者となるために～		

「新しい生活様式でやってみる」

久しぶりに砺波市まで出かける用事がありました。あたりの様子は新緑から青葉へ変わり、道路の片側には早苗が植えられ、もう片側には黄金色の麦畑が広がり、なんとも形容しがたい美しい風景を見ました。ここ数カ月、コロナウイルスに振り回され季節の移ろいにさえ、疎くなっていたことに気付かされた瞬間でした。

さて、皆様には長い間、登園自粛にご協力頂きまして、誠にありがとうございました。今後は長い間、このコロナウイルスと共存していく方法を模索していかなければならないようです。そのために「新しい生活様式」が提案されています。「新しい生活様式」とは、「マスク着用」「人々との間隔をあける」「手洗い、うがいの励行」そして、「3密の回避」「毎朝の健康チェック」などが示されています。幼児施設は業務の性質上、3密の回避は難しいところですが、意識して換気を取り、密集しない工夫をし、給食時はパーテーションを置くなどして日々の保育に臨みたいと思っています。

とはいえ、4月に入園、進級して数日で登園自粛となり、園生活を過ごしていないも同様で6月を迎えます。まずは、幼稚園に登園し、先生や友だちとの出会いを喜び、園の生活リズムを知ることから始めたいと思います。

安心して過ごせるように「ありのままの姿」を受け止め、園が楽しい、明日も行きたいなど、思えるような関わりを築いていきたいと思っています。園では、安全で安心して過ごせるように最善を尽くして参ります。感染拡大防止のために保護者の皆様には、当事者意識をもって自らの判断を大切にして、ご協力下さいます様をお願いいたします。今までに経験したことのないコロナ禍に出会い、改めて「当たりまえが当たりまえでなかった」ことに気付かされた方がたくさんおられることでしょう。親子関係・夫婦関係・自然界との向き合い・働き方の見直し・社会にとって危機の中で支えた仕事とは・など。「人が自然界を破壊したために、そこに暮らしていた生物の中にいたウイルスが人間社会に「引っ越し」して増えようとしている。」との文章を目にしました。人間の愚かさ、傲慢な姿を指摘されているようです。

